



プレスリリース

2026年4月14日

マレリ、新経営体制のお知らせ

マレリホールディングス株式会社（以下「マレリ」または「当社」）は、本日、フレデリック・“フリッツ”・ヘンダーソン（Frederick “Fritz” Henderson）を本日付けで同社の暫定 CEO に任命したことを発表しました。ヘンダーソンは、デイビッド・スランプ（David Slump）の後任として就任します。スランプは、現在進行中の米国連邦倒産法第 11 章に基づく事業再建手続きが終了するまで、引き続きマレリの取締役として留任する予定です。

また、本日、マレリの主要債権者グループは、ヘンダーソンの暫定 CEO の任期満了後、ローラン・ファヴル（Laurent Favre）をマレリの次期 CEO に任命する方針であることを発表しました。

ヘンダーソンは、自動車および産業分野において多岐に亘るグローバルなリーダーシップの経験を有し、事業パフォーマンスの向上、財務規律の徹底、そして複雑な事業変革を推進してきた確かな実績を兼ね備えております。これまで、ゼネラル・モーターズ（General Motors Company）の CEO、サンコーク・エナジー（SunCoke Energy, Inc.）の CEO 兼会長、アディエント（Adient plc）の非業務執行会長など、数々の上級管理職および非常勤役員の役職を歴任しており、変革期を乗り切り、組織を安定させて長期的な成功へと導くための深い知見を有しています。

また、5月1日付で、ロベルト・フィオローニ（Roberto Fioroni）を CFO、ヘレン・レッドファーン（Helen Redfern）を CHRO に任命したことを発表しました。フィオローニ氏は、アラナ・エイブラハムソン（Alanna Abrahamson）の後任として、CFO を務めていたダウライス（Dowlais Group plc）より、またレッドファーンも、チーフ・ピープル・オフィサーを務めていたダウライスから当社に加わります。

当社経営執行役会長のディネーシュ・パリワル（Dinesh Paliwal）は次のように述べています。

「これらの人事は、当社の財務再編が最終段階を迎えようとする中、マレリのリーダーシップチームの円滑な移行を図ることにあります。米国連邦倒産法第 11 章の適用から脱却するプロセスの最終段階に際し、フリッツの業務経験と自動車業界における知見は、マレリにとって極めて貴重です。」

当社暫定 CEO のヘンダーソンは次のように述べています。

「マレリは、卓越した技術、長年にわたる顧客との関係、そして世界中に広がる優れた人材によって際立っています。マレリの暫定 CEO として、私は安定性と継続性を確保しつつ、当社の強みと潜在力を



持続可能な業績と長期的な価値へと結びつけることに注力してまいります。当面の優先事項としては、戦略的ロードマップを最終決定し、米国連邦倒産法第 11 章からの円滑な脱却を成功裏に導くことです。また、ロベルト・フィオローニを CFO として、ヘレン・レッドファーンを CHRO として迎えることができ、大変嬉しく思います。両氏の経験と能力は、マレリをさらに強化し、この重要な転換期を経て、次の成長段階へと進むための支えとなるでしょう。」

新 CFO として就任するフィオローニは、20 年にわたる財務部門のリーダーシップ経験を持ち、自動車業界を含むグローバルな産業環境において、財務規律の徹底、業務効率の向上、および戦略的変革を推進してきた実績を有しています。前職では、ゼネラル・エレクトリック (General Electric Company)、グッドイヤー (The Goodyear Tire & Rubber Company)、ワブコ (Wabco Holdings Inc.) で上級管理職を歴任しています。

新 CHRO として就任するレッドファーンは、自動車業界を含む多岐にわたる分野でのグローバルな人事リーダーシップの経験を有し、人材戦略を通じて事業実績を向上させてきた実績があります。それ以前は、キアー・グループ (Kier Group plc)、ファーガソン (Ferguson Group)、セインズベリー (J Sainsbury plc) をはじめとする企業で要職を歴任しています。

当社経営執行役会長のディネーシュ・パリワル (Dinesh Paliwal) は、更に次のように述べています。「マレリの取締役会は、デイビッド・スランプが当社の事業および商業面での再編に貢献し、米国連邦倒産法第 11 章に基づく重要な時期において事業を牽引し、グローバルな事業運営の継続性と安定性を確保したことに感謝します。彼のリーダーシップ、規律、そしてマレリおよびそのステークホルダーに対する献身的な姿勢に深く感謝しております。」

当社前社長兼 CEO のデイビット・スランプ (David Slump) は次のように述べています。「マレリが戦略的ロードマップを最終化し、次の成長段階に向けて準備を進める中、今こそリーダーシップの移行を図る適切なタイミングです。過去 4 年間にわたるチームの成果、特にイノベーションと技術面での取り組みを誇りに思っており、マレリが米国連邦倒産法第 11 章からの脱却後、その伝統をさらに発展させていくことを確信しております。アラーナ・エイブラハムソンには、そのリーダーシップと貢献に対し感謝申し上げるとともに、今後のご活躍を心よりお祈り申し上げます。」

訳注：当文書は、米国東部時間 2026 年 4 月 13 日に発表された英語版プレスリリースの翻訳です。プレスリリースの正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語版が優先されます。

マレリについて

マレリは自動車業界をリードするグローバルなモビリティ・テクノロジー・サプライヤーです。技術革新と卓越した製造において確固たる実績を持つ当社の使命は、お客様やパートナーとの協力を通じてモ



ブリティの未来を変革し、より安全で環境に優しく、より良いコネクテッド・ワールドを創造することです。全世界に約 40,000 人の従業員を擁するマレリは、アジア、アメリカ、ヨーロッパ、アフリカに 150 以上の施設と研究開発センターを有しています。

メディアお問い合わせ先：

Fernando Vivanco

fernando.vivanco@marelli.com

米国

Scott Bisang / Jude Gorman / Dylan O'Keefe

Collected Strategies

Marelli-CS@collectedstrategies.com

日本

アシュトン・コンサルティング

mprjapan@ashton.jp

03-5425-7220